

子ども と あそび

～ ワクワク ドキドキ あそび心と共に ～

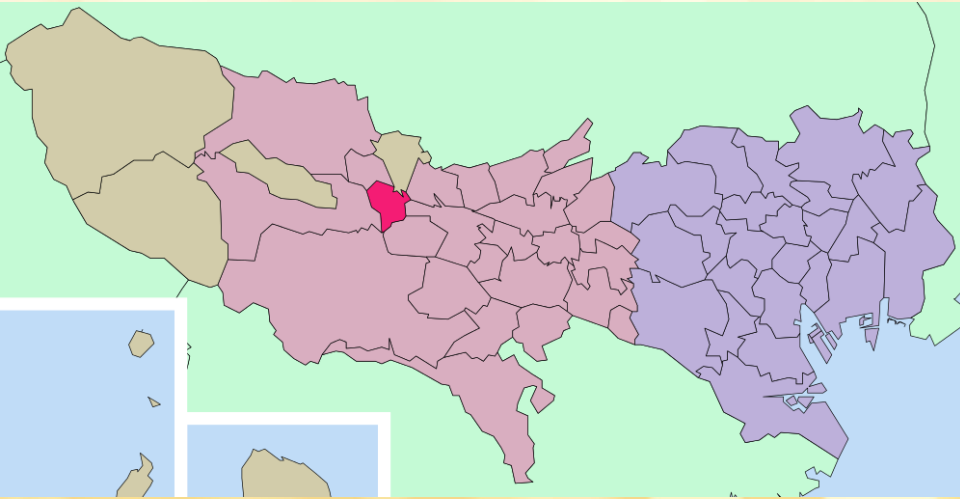
東京三多摩山梨事業本部
FUSSA地域福祉事業所
福生市熊川児童館
神山千歳
c-kamiyama@roukyou.gr.jp

- ① 自己紹介
- ② 事業紹介
- ③ 本研修の狙い
- ④ 「あそび」ってなあに？
- ⑤ 「子ども」ってなあに？
- ⑥ 「あそび」が大切だ、という根拠
- ⑦ 今（2020年）の子ども達は？
- ⑧ プレイワーカーという立ち位置
- ⑨ 地域には「あそび場」がいっぱい？

テーマ 「子ども」と「あそび」

子ども現場にいる方々は特に、子どもたちと遊んでいるかと思います。
そこで得られている子どもがあそびを通して、楽しんでいた、喜んでいたり、
変化成長をしていることを感じているでしょう。
そのことについての視点が本研修を通して、より豊かに、より広がりをもたれたり、
体系的なとらえ方をするヒントになれば幸いです。
また、仕事おこしをする際の地域への理解や共感、行政や助成金元への論理武装にも
つながれば、と思います。
そして、なにより、みなさまが、目の前の子どもたちと遊ぶ、
もしくは、あそび環境をつくろうとする際の、
なんらかしらのきっかけになれば、幸いです。

福生市紹介



■面積：10.24平方km

■総人口：57,338人

(2020年5月1日時点)

■18歳未満：7,501人

(2019年1月1日時点)

- ・小学校：7校
- ・中学校：3校
- ・高等学校：2校
- ・児童館：3か所
- ・学童：12か所
- ・放課後等サービス：5か所
- ・（全児童対策）放課後子ども教室：全校

■東京都西部：西多摩

■最寄り駅：JR青梅線福生駅

■横田基地、福生七夕まつり（8月初旬）

■村上龍「限りなく透明に近いブルー」

■外国籍：3,606人（6.2%）

※東京都内平均：2.4% 青梅市…0.6%

■「子育てするなら、福生」
市長のスローガン

- ・待機児童：0人
- ・子育てしやすい街：3位（日経DUAL 2017）

■現場紹介

- ・ 福生市3児童館（武蔵野台、熊川、田園）
及び、併設3学童クラブ、1会館（田園会館）
午前9時から午後9時まで開館（田園会館は午後10時まで）
月の最終日曜日と年末年始以外は開館。
- ・ 1放課後等ディサービス：歩っ歩（市内初の放DAY）
- ・ 組合：約50名 ・ 事業高：約1億8千万
- ・ ふっさプレイパークを創る会間接支援委託事業受託：約30万円／年

■事業所の歩み

2007年 指定管理制度により、市内3児童館及び、
併設学童クラブ、田園会館も含め、ワーカーズコープが運営
2012年 指定管理制度 1度目の更新
2013年 社会連帯企画 「くまっこまんぷくDAY」
2014年 放課後等ディサービス 歩っ歩 開所
2017年 指定管理制度 2度目の更新
2018年 ふっさプレイパークを創る会間接支援委託事業受託

子どもたち自身が主導し、統制し、かつ組み立てる
振る舞い、活動または、プロセス。

＜特色＞

- ・ 非義務的
- ・ たのしさ
- ・ 柔軟性
- ・ 内発的動機
- ・ 不確定さ
- ・ 非生産性
- ・ それ自体が目的
- ・ 挑戦

（参考文献：子ども権利条約31条ジェネラルコメントより）

あそびってなあに？

◎ 「あそび」を、25をあげてみよう！！

<< あそびビンゴ >>

「あそび」だと思うものを下のマスに埋めてみよう。

＜考えてみよう＞

- ・自分が子ども時代していたあそびは、どんなあそび？
- ・自分が10歳のときに、一番楽しかったあそびは？
- ・今、目の前の子どもたちがあそんでいるあそびは？
- ・あそびって、なあに？

《ポイント》

プレイワーカーは、自分を振り返ることが大事

自分のストロングポイントやウィークポイント、トラウマ、原風景などを把握し、理解することは、みずからの支援のあり方を客観視するのに役立つ。

あそびってなあに？

【 どこから、どこまでが「あそび」？ 】

入団直後の広場事業で、1歳児のぐちゃぐちゃ描き
⇒「わー、とても良くかけたねー、凄いねー」という声かけ（by先輩組合員）

＜児童館＞

鬼ごっこ、サッカー、マンガ、トランプ、砂場、滑り台、泥団子、トランポリン、しゃぼん玉、読み聞かせ、
工作、料理、季節事業、表現活動、おもちつき、水あそび、市の行事（夏祭りへ出店）、畑や遠足
中高生の「つどい」「かたりあい」、ブレイクダンス、ギター。

＜プレイパーク＞

木登り、焚火、てづくりピザ、流しそうめん、ザリガニ釣り、タライで水遊び

＜その他＞

ピンポンダッシュ、塀の上をあるく、川に石投げ、落書き、大声でさけぶ、回転ドアに2人ではいる。

ぼくが思う「あそび」は、その人がそれを「あそび」と思い、それを担保されるだけの自由があれば、それは、あそび。

⇒ 要は、「なんでも、あそびになる」

【 「あそび」と「スポーツ」は違う？ 】

ボールをけりあうのは、あそび？ ルールがあるのが、サッカー？

「甲子園」は、スポーツ？ 教育？ あそび？

そして、マリノスのサポーターである理由。

☆あそびのボール蹴り

- ・目的：あそぶこと、たのしむこと

その為なら、ルール変更をする。時間、参加人数、スペース、増えても、途中でやめても、なんなら手をつかっても、、、

☆サッカー

- ・目的：勝つこと。

それを担保する為の固定されたルール。

こぼれ話

あそびってなあに？

- ★ 4歳の息子は、サッカーあそびをする際に、入場から行う
- ★ 赤ちゃんのあそび食べ、自分の身長と同じ階段を登る
- ★ シャチのアザラシの子どもを狩るあそび
- ★ アフリカの部族の踊りは、狩りのシュミレーション
- ★ ロンドンのプレイワーカーから聞いたエピソード

シリアの激戦地の子どもたちは、不発弾を拾ってきて、池に投げ込み、爆発させ、魚が放り出されてとるあそびをしている。

また、繁華街にわすかばかりの野菜や拾った電化製品の的なものを売りに行くが、その行き帰りの道で、トラックの手すりにつかまり、乗ってあそぶ。

対向車とすれ違いざまの事故が多発。

- だから、シリアの母親たちが、一番望んだのは、安心してあそべるスペース
- プレイパークをつくることへつながる。

あそびってなあに？

。

子どもは、0歳から18歳

＜考えてみよう＞

- ・ 小学校4年生から、「子どもと大人の違いってなあに？」と聞かれたら？
「年齢が違う」「法律で決まっている」以外の返答すると、何を答えますか？

◆子どもは、未来の担い手？

- 「未来」ということは、今は？
- 社会をつくるのは、大人だけ？ 子どものあそびもまなびも、市場のクイモノに。
- コロナ対応での学校が休みになることに、6年生が「ぼくらの意見も聞いて！」

子どもってなあに？

◆子どもって何歳まで？

→ 江戸時代は15歳で元服だった。昔は、働き手の一部だった。

いまや、8掛け、7掛け、とも言われている。 $30\text{歳} \times 0.7 = 21\text{歳}$

⇒ 子ども権利条約

⇒ 児童福祉法

すべて国民は、児童が心身ともに健やかに生まれ、且つ、育成されるよう努めなければならない。

すべて児童は、ひとしくその生活を保障され、愛護されなければならない。

「あそび」が大切だ
という根拠

子どもの成長には3つ「ふり」が必要です。

「遊び」は子どもの主食です。

Jump-JAM (ジャンジャン)

※) スポーツでもない。遊びでもない。子どもの可能性を引き出す運動遊びプログラム。

ナイキとのコラボで、子どもの体力や身体能力の低下を危惧しての取り組み。



～スマホを置いて ふれあい遊びを～

どこで遊ばせる？ どう遊ぶ？

子どもの遊び場を確保するのは地域の大人の責任です！



公園、子育て広場、児童館、図書館、プレーパーク(冒険遊び場)、園庭開放などを利用しましょう！

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本小児科医会

子ども権利条約 31条

締約国は、休息及び余暇についての児童の権利並びに児童がその年齢に適した遊び及びレクリエーションの活動を行い並びに文化的な生活及び芸術に自由に参加する権利を認める。

締約国は、児童が文化的及び芸術的な生活に十分に参加する権利を尊重しかつ促進するものとし、文化的及び芸術的な活動並びにレクリエーション及び余暇の活動のための適当かつ平等な機会の提供を奨励する。

子ども権利条約 31 条ジェネラルコメント (一般的意見)

■あそびは、子ども辞退の喜びの基本的かつ枢要な側面であり、身体的、社会的、認知的、情緒的および魂の発達に不可欠な要素です。

※) 枢要 (すうよう) : 一番大切なところ。かなめ。

■あそびは、交渉し、情緒的バランスを回復し、紛争を解決し、物事を決める子どもの能力を育てます。

■自然のなかで遊んだ子ども時代の記憶は、ストレスに対処する内的資源を強化し、精神的畏怖の念を抱くきっかけとなり、かつ地球への責任感を推奨します。

■あそぶことを通して、子どもたちは学び、身のまわりの世界を探求・経験し、新しい考え、役割や経験を試し世界における自分の社会的立場を理解しかつ構築していくことを覚えています。

- ◎ 時間：どんどん忙しくなる小学生や子ども達
授業と宿題が増えている。学年×10分
- ◎ 空間：大人が管理している子どもの居場所は
あるけど、自由に野球、木登り、川遊びは？？？
- ◎ 仲間：SNS問題、荒れていく一方の言葉の掛合
- ◎ 手間：待機児童対策の名のもとに、定員以上の
子どもが押し込まれる学童クラブ、、、

- ◎ 「明けておめでとうございませう。」を言わない
学童児、その保護者。
- ◎ ついたお餅を食べれないおもちつき
落ち葉で焼いてはいけない焼き芋
ボール遊びが禁止な公園
鬼ごっこしちゃいけない道路
地域の人が全部不審者扱い？？？
⇒ そりゃ、誰だって、携帯ゲームをするよ。

◎ 管理責任回避と「経験の貧困」

- ジャングルジムは2段目まで
- ブランコの立ちこぎは2年生から
- 校庭のすみっこに行くのは禁止
- 小学校での調理実習は肉を使わない（衛生上の理由）
- 遠足でのおやつ交換なし（アレルギー対策）
- オ二になるのが怖くて鬼ごっこできない

（※熊川児童館での事例ではありません。）

⇒ 危ないものを遠ざけることが逆効果！

子ども（0～17歳）1人あたりの
大人（18歳以上）の数は？

1920年（大正9年） 1. 33人

1970年（昭和45年） 2. 46人

2010年（平成22年） 5. 26人

2030年 10人を超える？？？

それでも、子ども達は、、、。

児童館の1番人気のあそびは、
鬼ごっこ、かたき（サバイバルドッチ）

子どもが望むのは、
1位「からだをつかって遊べる場所」
2位「自由に友達と集える場所」

（福生市子ども子育て指針(第2期)より）

プレイワーク(PlayWork)

「子どもが遊ぶことに関わる大人のあり方」
についての専門分野。

本当に、『子どもが好きであれば、専門性を持たなくても、誰でも出来る仕事』なのだろうか???

子どものあそびは、子どもにとっては、身の回りの生活の中で、触れる人やもの、環境すべてが「遊ぶ場」となり、「遊ぶ道具」の可能性持っています。

一方で、その環境が奪われつつある。

「豊かな遊び環境の整備やそこでの子どもとの関わり」について追求する専門性が必要だ。

⇒ プレイワーカー

子どもの行動をどの視線でみるか？

- 教育の視線
- 生活の視線
- 医療の視線
- 経済の視線
- あそびの視線
- 、、、etc

⇒どれが正解という話しではなく、
あなたはどうか？



あそび環境を整える難しさ！！

「子どものあそび環境を整えることは
コミュニティの課題を解決することになる」
(ロンドンのプレイヤーの重鎮)

「今も、近隣に引っ越してきた住民があれば、
丁寧にこちらのコンセプトや取り組みを説明する」
(せたがやプレイパークのワーカー)

「小学校からの帰り道で
一番好きだったあそびは、どぶあるき」
(学童責任者)

- ウォータースライダーには、事前に着替え用の古着を用意
- 焼きそばの店舗の横で、消防士のカッコをして、
消火器を持つ。
- まずは、挨拶からはじめる。
最近の子ども達が公園でうるさくあそんでいる。
⇒ 身内や知り合いの子は、うるさくない。
赤の他人の子は、うるさい。

<地元で>

- ・団地のクリスマス会

主催：霞台第一住宅自治会児童部

- ・Henshin河辺ハロウィン

主催：市民有志の実行委員会形式

<市内で>

- ・子どもFREE CAFÉ / 子どもの居場所づくり事業・かーもくの会

主催：子どもと文化のNPO 子ども劇場西多摩

- ・青梅ふれあいまつりでの中高生によるお化け屋敷

主催：まつりは青梅市内NPO法人2団体＋青梅市

お化け屋敷は、子ども劇場西多摩高学年部

<国内では>

- ・笑顔あふれる地域イベントアワー

主催：子ども文化地域コーディネーター協会

- ・Teen'sこみゅにけーしょんWorkshop

主催：NPO法人子ども劇場東京都協議会

<世界では>

- ・アシテジ世界大会

（国際子どもと文化芸術・未来フェスティバル）

- ・ストリート プレイ（ロンドン）

- ・ミニ ミュンヘン（ドイツ）

児童館、学童、公園、学校
街なか、などなど
子どもが関わるすべての場が、

より自由で、
より創造的で、
より文化的で、
より面白い場にな
りますように。



遠い異国の公園で、テンションMAXになった息子

- 子ども権利条約 31条 ジェネラルコメント
https://www.nichibenren.or.jp/library/ja/kokusai/bumanrights_library/treaty/data/child_gc_ja_17.pdf
- 福生市児童館公式HP：<http://www.fussa-jidoukan.net>
- 日本冒険遊び場づくり協会：<https://bouken-asobiba.org>
- プレイパークせたがや：<https://playpark.jp>
- 川崎市夢パーク：<http://www.yumepark.net>
- 子ども文化地域コーディネーター協会：
<http://www.kodomo-bunka-co.org/>

ご清聴ありがとうございました